

令和4年度

事業実績報告書

施設名：ヘルパーステーションこもれび

事業所名	ヘルパーステーションこもれび		職名	人数	備考
施設長・管理者名	施設長：西谷 由美 / 管理者：澁谷 育代		施設長	1名	兼務(みのり大山、ふくもり、こもれび) 兼務(サ責、訪問介護員) 兼務(管理者・訪問介護員)
実施事業	訪問介護・総合事業・訪問介護自費サービス		管理者	1名	
開設年月日	平成25年8月1日		サービス提供責任者	3名	
所在地	鳥取県倉吉市福守町492-1		生活相談員	名	
正規職員(総合職)数	1名		看護師	名	
正規職員(一般職)数	1名		訪問介護員	8名	
準職員	フルタイム 0名 : パートタイム 2名		調理員	名	
契約職員	フルタイム 0名 : パートタイム 4名		夜間専門員	名	
定員	112名	実績利用者数 81名/月	達成率 72 %	計	8名
項目	事業計画		事業実績		
1 基本方針	(1)ご利用者様が可能な限り住み慣れた場所で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な生活支援及び身体支援を行います。 (2)ご家族様の身体・精神的負担の軽減を図るために、必要な相談援助を行います。 (3)ご利用者様の人権と安全を確保した介護の提供と、個人の尊厳を尊重したサービスの提供をします。				
2 運営方針	(1)ご利用者様の思いを大切に、安心・安全に生活が送れるよう支援します。 (2)新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスクの着用、手指のアルコール消毒を徹底し、三密を防ぎ、感染拡大防止に十分に配慮します。 (3)地域包括支援センターや医療機関との連携を行い、ニーズの掘り起こしをします。 (4)職員はプロの自覚を持って、自己研鑽に努め、質の高い介護を目指します。 (5)介護保険だけでなく自費サービスを利用いただくことで、ご利用者様のニーズに合わせた多様なサービスを提供し、訪問支援事業の拡大と安定を図ります。 (6)ご利用者様の個人情報等の守秘義務及びコンプライアンスを遵守します。				
3 主な事業内容	(1)施設整備計画 なし		(1)施設整備実績 なし		
(1)施設整備事業	(2)事業活動 コスモスを通じての地域との交流。 みのり大山入居者様と7月にコスモスの植え替え。 種取りをして11月の文化祭に来場の地域の方に配布。		(2)事業活動 コロナ感染予防のため、種植え、種取りは職員が行ったが、種の配布については、地域の方の参加ができず、配布する事ができなかった。		
(2)事業活動					
4 安全管理・衛生管理	(1)感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。 (2)新型コロナウイルス感染症について、感染拡大防止のため「手洗い」「手指のアルコール消毒の徹底」、屋外も含め短時間でも会話時にはマスクを着用し、三密を避け、危機管理意識を持って感染防止に取り組みます。また、感染拡大を抑えるのは個人の行動にあることを認識し、基本的な感染予防「感染しない」「感染させない」を意識し感染防止の一層の徹底をします。 (3)職員の健康管理 ・体調が悪い職員が出勤することがないよう、職員の健康管理を徹底します。 ・アルコール等適切な方法による消毒を行います。(共同利用空間における感染予防) ・休憩室等で飲食する際はマスクを外す時間を最小限とし、適切な距離を保ちます。 (4)事故防止・苦情解決等の委員会を開催し、ヒヤリハット、ご意見や苦情を検証し、サービスの改善に努めます。		(1)コロナ陽性者の支援時も、防護服、消毒の徹底を行う事で、感染拡大防止に努める事ができた。定期的に感染症の勉強会も行った。 (2)定期的な委員会の開催はできなかったが、ヒヤリハット、苦情等が出た時は問題を検証し、解決に向け取り組んだ。 (3)体調確認を毎日行い感染予防に努めた。 (4)事故防止や苦情に対し職員間で話し合いサービス改善に努めた。		

5 防災・火災、救助体制	<p>防火・防災、救助活動 防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全・被害の軽減を図ると共に、みのり大山で行われる防火訓練(年2回)の参加、地域防災状況の把握、有事に迅速な対応ができる環境整備を行い、併設している居宅ふくもりと共同して入居者様の安全の確保を行います。</p>	<p>9月 14:00～ みのり大山の避難訓練に参加 12月 14:00～ みのり大山の避難訓練に参加</p>
6 職員の資質の向上と研修	<p>施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。 (1)外部研修への参加 ①高齢者介護研修、初任研修等及び、キャリアアップ研修等を通じ、自己研鑽を図ります。 ②介護専門職研修を通じ、介護技術の習得に努めます。 ③実務経験の少ない職員については介護技術・知識の研修を行い、レベルアップに努めます。 (2)法人内部研修への参加 法人内の研修は、研修内容に応じた職員が受講を行い、施設の業務に活かします。 (3)施設内のOJT・職場研修の実施 ①定期的に施設内学習を行います。 ②外部研修を受けた職員が伝達研修を実施します。 (4)職員の資格取得のための取組み 資格に対する法人の助成制度を活用し、介護福祉士等の資格取得意欲の向上とキャリアアップを促します。 (5)職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底 多職種連携や、報・連・相を徹底する事で、業務の効率化やご利用者様等の安心、安全、自立支援に繋げていきます。 (6)SDGsの取組み SDGsの取組み 地域共生社会の実現に向け、誰もが地域で安心して住み続けられる社会を目指します。 「目標3 全ての人に健康と福祉を」 ・職員の健康診断、腰痛検診、ストレスチェック、ワクチン接種等 ・身体的虐待、介護・世話の放棄放任、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待の撲滅 ・個人情報保護の確保、ハラスメントの防止</p>	<p>(1)外部研修への参加 参加なし。 (2)法人内部研修 5/16、6/10、7/8 管理職員研修 11/30 障がいにあわせたコミュニケーション 2名参加 1/24 中堅職員研修 1名参加 3/6 一般職員研修 1名参加 (3)施設内のOJT・職場研修の実施 4月 熱中症、食中毒を防ぐ 5月 認知症について 6月 コーチングとティーチング 7月 技術、観察力を高める方法 8月 心と体のモヤモヤ、疲れ 9月 情報共有とプライバシー 10月信頼される介護の接し方 11月 事故再発防止 12月誤飲・問題行動 1月 統合失調症について 2月 プライバシーに関する事 3月 介護事故防止 (4)資格取得に向け取り組んだ。 介護福祉士所得に向けて、実務者研修を受講した。 (5)メモや業務日誌、ヘルパーのグループラインを活用し取り組んだ。支援時に何か変化があった際は、すぐに関係者へ報告し、支援内容の見直しや継続的な観察を行う事で、ご利用者様が安心して過ごせるよう取り組んだ。また、できる限り残存機能を活かした支援を行い、機能維持を図った。 (6)地域によってばらつきはありますが、できる限り地域で支え合った支援が展開できるよう取り組んだ。</p>
7 各種団体との連携と地域交流	<p>広報紙の発行・配布 発行回数：1回/年 配布先：地域包括センター、居宅介護支援事業所、地区公民館、地区自治会等</p>	<p>広報誌の発行・配布 発行回数：0回/年</p>

季節・年間行事

施設名：こもれび

実施月	行事計画	行事实績
令和4年 4月	大山行事(花見)	なし
5月	大山行事	なし
6月	大山行事	なし
7月	大山行事	なし
8月	大山行事	なし
9月	大山行事	満足度調査・避難訓練参加
10月	大山行事	なし
11月	大山行事	福祉の里 文化祭参加
12月	大山行事	避難訓練参加
令和5年 1月	大山行事	とんど祭り参加
2月	大山行事	
3月	大山行事	